

平成31年度 社会福祉法人淳邦会 事業計画

特別養護老人ホーム のぞみ荘

地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

ケアハウス オパール

デイサービスセンター オパール

オパール居宅介護支援事業所

福田高齢者支援サブセンター

グループホーム ひなぎく

育成推進室

平成 31 年度 事業計画

特別養護老人ホーム のぞみ荘

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

入所者一人ひとりにあった生活を送っていただくために、個々のニーズを明確化し、快適に過ごしていただけるようなサービス・環境の提供に努める。

また看取り介護についての理解を深め、「施設で最期を迎えたい」という入所者やご家族の意向がある場合は、その意向を尊重し趣旨に沿って人生の最期をその人らしく迎えらるよう支援していく。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

継続的にボランティア等を受け入れ、地域に施設の情報等を発信することで開かれた施設を目指し、地域の夏祭りの参加など通して地域住民との交流の促進を図っていく。

また、高齢者緊急措置の必要なケースについてショートステイ等により可能な限り受け入れるなど、関係機関、関係施設との連携の下、地域におけるセフティーネットの役割を果たす。

・優秀な福祉人材を育成する

職員の資質向上と職業倫理の徹底を図るために、各種研修会の開催や外部研修会に積極的に参加する。

人事異動により他部署間との人事交流を行い、基本的なサービスの質を担保しより良いケアを目指す。また人事交流を行っていくことで職員の職務能力とスキルの向上を図る。

・人が活きる職場環境を整備する

居室用のベッドについて購入時から相当の年数を経ており、傷みが大きいことから年次計画で電動ベッドを購入し、入所者環境の整備に努める。また、介護ロボットやセンサー機器、現場が求める先端機器の導入についても情報収集・導入検討に努め、職員にも入所者にも負担の少ない介護を図る。

安定したサービスが提供できるよう人材確保に努める。入浴、食事介助といった具体的な場面で対応できる職員の雇用及び定着をめざし、職員の意見や想いが反映されるような体制の構築と継続して働き続けることが出来る職場環境の改善を図る。

・安定した経営を継続する

長期的に安定した施設運営を行う財務基盤の確立を目指すために、実態に合ったコスト管理を行い少しでも経費を削減できるよう業務内容の効率化の見直しに努める。

入所者一人ひとりの心身の状況を的確に把握し、生活に寄り添う看護ケアを心が

け、疾病への早期対応や協力病院、嘱託医師、ご家族との連携を密にし、安心して生活を送れるよう努め、入院日数の削減を図る。また、新規入所者や退院者のスムーズな受け入れが実施可能なよう、タイムラグの短縮をめざして各職種の連携・協力体制の強化に努め、稼働率 95%以上を目指す。

短期入所稼働率を 75%に設定し、地域の居宅介護支援事業所に空床情報を提供すると共に、緊急ショートについても柔軟に対応して地域の要望に応え目標に向けて情報を提供する。

・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

高齢者の尊厳の保持の視点に立って、虐待防止・身体拘束ゼロ・不適切ケアの防止などの権利擁護のための取組を推進し、入所者が安心した日常生活を送れるよう努める。

平素から防災関係設備・機器の整備点検を適切に行うとともに、定期的に避難訓練、防災訓練を実施し安全対策に努め入居者の安全対策や環境整備に努める。

また、非常災害時の福祉避難所として倉敷市と協定を締結しており、倉敷市から要請があった際は可能な限り受け入れ、支援していく。

平成 31 年度 事業計画

地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

入居者の歩んでこられた人生を大切にし、尊厳の気持ちを持って援助を行う。平穏な生活を提供し、季節を感じていただきながら地域や家庭との結びつきを重視した支援を行う。

また看取り介護についての理解を深め、「施設で最期を迎えたい」という入居者やご家族の意向がある場合は、その意向を尊重し趣旨に沿って人生の最期をその人らしく迎えられるよう支援していく。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

地域住民や入居者家族、地域福祉関係者等からなる運営推進会議を開催し、施設運営の課題や地域の要望、町内福祉の現状などについて話し合い施設運営に反映していく。

・優秀な福祉人材を育成する

職員の資質向上と職業倫理の徹底を図るために、各種研修会の開催や外部研修会に積極的に参加する。

人事異動により他部署間との人事交流を行い、基本的なサービスの質を担保しより良いケアを目指す。また人事交流を行っていくことで職員の職務能力とスキルの向上を図る。

・人が活きる職場環境を整備する

居室用のベッドについて購入時から相当の年数を経ており、傷みが大きいことから年次計画で電動ベッドを購入し、入居者環境の整備に努める。また、介護ロボットやセンサー機器、現場が求める先端機器の導入についても情報収集・導入検討に努め、職員にも入居者にも負担の少ない介護を図る。

安定したサービスが提供できるよう人材確保に努め、職員の雇用及び定着をめざし、職員の意見や想いが反映されるような体制の構築と継続して働き続けることが出来る職場環境の改善を図る。

・安定した経営を継続する

長期的に安定した施設運営を行う財務基盤の確立を目指すために、実態に合ったコスト管理を行い少しでも経費を削減できるよう業務内容の効率化の見直しに努める。

待機登録者数が減少していく中、登録数増加を目指し地域の医療機関等に積極的に訪問を行い信頼関係を構築する。

入居者一人ひとりの心身の状況を的確に把握し、生活に寄り添う看護ケアを心がけ、疾病への早期対応や協力病院、嘱託医師、ご家族との連携を密にし、安心して生活を送れるよう努め、入院日数の削減を図る。また、新規利用者や退院者のスムーズな受け入れが実施可能なよう、タイムラグの短縮をめざして各職種の連携・協力体制の強化に努め、稼働率 95%以上を目指す。

・ **業務管理体制（法令等遵守）を徹底する**

高齢者の尊厳の保持の視点に立って、虐待防止・身体拘束ゼロ・不適切ケアの防止などの権利擁護のための取組を推進し、入居者が安心した日常生活を送れるよう努める。

平素から防災関係設備・機器の整備点検を適切に行うとともに、定期的に避難訓練、防災訓練を実施し安全対策に努め入居者の安全対策や環境整備に努める。

平成 31 年度 事業計画

在宅支援部
ケアハウス オパール

- ・ **利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する**

あいさつ・コミュニケーションを通じて、ご利用者との信頼関係を築き、利用者が相談や要望の言いやすい環境作りに努める。

ご利用者個々の要望に応じた行事を行うことで生きがいを感じ、楽しく日々を送れるよう支援する。

- ・ **人が活きる職場環境を整備する**

整理・整頓・清掃を徹底して行う。

委員会を活用し、事業所に応じた対策・物品の確保を行う。

- ・ **安定した経営を継続する**

長期間の空室を避けるため、積極的に外部に情報提供を行い安定した稼働率を維持していけるよう努める。

平成 31 年度 事業計画

在宅支援部
デイサービスセンター オパール

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

「その方が在宅生活を継続できる為には自分たちが何をすべきか」という視点で常にアセスメントを行うことや、潜在的なニーズも的確に捉えることにより、日常を通じて喜びを感じていただけるサービスを提供する。

また、個別機能訓練の実施に向けて、具体的な取り組みの方法や実施の手段をチームで検討しながら、早期の導入を目指し、利用者の身体機能の維持・向上へつなげる。

対象者に合わせた統一したケアの提供とご家族様との情報共有・連携により認知症利用者が安心して元気に過ごせる環境作りを行う。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

法人が目指す地域における公益的な取り組みを理解し、積極的に参画する。

・優秀な福祉人材を育成する

在宅におけるデイサービスセンターの役割を再度認識し、個別ケアの実践がしっかりと行える専門職を日々の業務や研修参加により育成する。

・安定した経営を継続する

個別機能訓練の実施や認知症高齢者の対応の強化を引き続き行い、稼働率 65%を目指す。また、地域のケアマネジャー等に効果的な情報提供を行い、関係を強化する。

・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

ひやりはっと等を活用し、事故の減少対策を継続するとともに、不適切ケアをなくす取り組み、適切な記録を行うなど法令遵守の徹底を図る。

平成 31 年度 事業計画

在宅支援部
オパール居宅介護支援事業所

- ・ **利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する**

利用者の入院時には適切に情報提供を行い、医療・介護の連携を図る。在宅復帰するため、本人・家族の意向を確認しながら、目標を設定し、他職種で共有する。退院後に安心して在宅生活が継続できるよう支援する。

- ・ **地域福祉の拠点となる活動を実施する**

民生委員の方など、地域の方と連携して、介護保険制度等についての相談会を計画、実施する。

- ・ **人が生きる職場環境を整備する**

医療・福祉職との関係作り、事業所の資質向上のため、研修・勉強会の参加を年 10 回以上行い、事業所内でも情報交換を行う。

- ・ **安定した経営を継続する**

新規利用者の受け入れについては、包括支援センター、医療機関(退院支援、介護保険の申請)、老人施設(退所後の在宅支援)からの紹介や相談に柔軟に対応し、稼働率 80%以上を目標とする。

法人の運営(行事、委員会等)と並行しながら事業所運営を行う。

平成 31 年度 事業計画

在宅支援部
福田高齢者支援サブセンター

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

在宅で生活している方の相談、支援を行う時に、その方自身や家族に「どう生活をしたいか」を考えていただくことを意識した援助を行う。「支援が必要なこと」その人が自分で「出来ること」「続けたいこと」を一緒に話し合い、これからの生活を自分で選択して決定できるよう、公的サービスだけでなく地域の活動などの情報を提供し、支援できるよう努める。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

倉敷市全体の高齢者支援センターの目標としても「地域づくり」が取り上げられており、担当地区だけではなく水島地区全体で地域の活動をしている方や医療機関との顔の見える関係、連携を強化するよう外に出向いていくことが必要となる。

地域の中にあるサロン活動やシニアクラブの活動にも参加し、地域の中で高齢者支援センターが活動していることを伝える機会を積極的に作り、活動の中で把握した課題は住民の方や他の専門職とも共有できるよう努める。

平成 31 年度 事業計画

在宅支援部
グループホーム ひなぎく

- ・ **利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する**

季節感や楽しみを大切にした行事や食事の取り組みを計画し、利用者がそれぞれに合ったお手伝い出来るよう援助していく。また、担当者が作成する毎月の家族へのお便りをきっかけに、日々の報告やニーズ把握などの情報交換を行い、より良いサービスの提供を目指す。

- ・ **地域福祉の拠点となる活動を実施する**

運営推進会議を計画的に実施し、職員も積極的に参加し、内容の充実に努める。施設外の交流を継続し、認知症マイスター、ボランティア、実習生を受け入れる機会等を通じて地域に貢献する。

- ・ **優秀な福祉人材を育成する**

施設内外の研修に積極的に参加し、援助方法、業務の検討を行う。事例研究発表の機会を設け、ケアの向上を目指す。

- ・ **安定した経営を継続する**

関係機関との連携を密にし、事前の準備を行うことで円滑な入所を支援し、稼働率 93%を目指す。

- ・ **業務管理体制（法令等遵守）を徹底する**

ひやりはっと等を活用し、事故減少に取り組む。また、マニュアルの徹底を行うことで統一化されたケアを提供する。防災関係設備等の把握に努め、定期的に訓練を実施することで災害時でも落ち着いて対応できるように備える。

平成 31 年度 事業計画

事務局
育成推進室

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

常に利用者の視点から高齢者福祉施設職員として求められる「やり方」と「あり方」を念頭に置いたサービスを提供できるよう働きかけを行う。現状を把握し、課題解決、質の向上につながる取り組みを行う。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

社会福祉法人の責務として位置付けられた「地域における公益的な取組」を地域活動委員会と共に実施する。各種機関・団体と連携して地域のニーズを把握し、貢献することでより地域に求められる法人、地域共生社会の実現を目指す。ふくふく堂の開催等を通じて、地域の皆様と顔の見える関係を築き、ニーズに沿った活動を実施する。「機会、場所、人」のつながりを深め、来荘していただく機会を増やす。

・優秀な福祉人材を育成する

法人の求める人材を獲得し、成長できる職場環境を整える。法人全体で共通した育成システムの確立を図ると共に事業所毎の育成体制において、根拠に基づいた、きめ細やかな育成を行う。新人研修、外部講師を招いての研修、階層別、職種別研修の開催、委員会活動、資格取得支援、研究発表等、様々な機会を通じ育成を行う。効果的な施設外研修計画を立案する。

・安定した経営を継続する

利用者、求職者から「選ばれる法人」となるよう同業他社との差別化を図ると共に、ホームページ等を活用し、積極的に情報を発信する。「数字」の理解を深め、より意識した運営が行えるよう役職、中堅職員を対象とした働きかけを行う。また、法人内での連携を強化し、相談から看取りまで複合施設として継続、安心して利用できる援助体制を整備する。

・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

職員個々が役割を担う上で把握しておくべき法令、ルールを根拠から理解し、実践できるよう研修体制を整備する。多方面から情報を収集し、柔軟に対応できる組織作りを目指す。

・人が活きる職場環境を整備する

それぞれの職員が持つ特性を把握して、適材適所の役割を任命し、前向きに働ける環境を整備する。また活躍の場を作ると共に、取組に対して適正な評価を行うことでモチベーションの向上を図る。今年度から岡山県で導入される「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」に取り組み、良い評価を得られるよう職場環境を整える。

平成 31 年度 法人行事・消防・防災計画

| | 主な行事 | 個別避難訓練 |
|-----|----------------------------|--------------------------|
| 4月 | 新人研修 | |
| 5月 | 法人委員会研修（食中毒） | デイサービス |
| 6月 | ふくふく堂 | ケアハウス |
| 7月 | 労働衛生研修 | 介護 1 課 |
| 8月 | 福田南町内会夏祭り くるみまつり | グループホーム |
| 9月 | 敬老の日記念式典 法人委員会研修（感染症） | 介護 2 課 |
| 10月 | 救命救急講習 階層職種別研修 ふくふく堂 | 地域密着型 |
| 11月 | 地震対応訓練 | デイサービス |
| 12月 | 階層職種別研修 | ケアハウス（夜間） |
| 1月 | 労働衛生研修 | 介護 1 課（夜間） |
| 2月 | ふくふく堂 階層職種別研修 | 介護 2 課（夜間） デイサービス |
| 3月 | 合同消防訓練 | 地域密着型（夜間） グループホーム（夜間） |